



2021年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

2021年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 生化学工業株式会社

コード番号 4548 URL <https://www.seikagaku.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 水谷 建

問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 杉山 大輔 TEL 03-5220-8950

四半期報告書提出予定日 2021年2月12日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無： 有

四半期決算説明会開催の有無： 無

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第3四半期の連結業績(2020年4月1日～2020年12月31日)

(1)連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第3四半期	20,813	△10.4	1,459	△55.3	2,113	△45.4	1,879	ー
2020年3月期第3四半期	23,240	7.7	3,265	141.6	3,868	31.0	△9,781	ー

(注) 包括利益 2021年3月期第3四半期 1,857百万円 (ー%) 2020年3月期第3四半期 △9,083百万円 (ー%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第3四半期	33.31	ー
2020年3月期第3四半期	△173.40	ー

(2)連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2021年3月期第3四半期	66,664	60,267	90.4
2020年3月期	68,501	59,767	87.2

(参考)自己資本 2021年3月期第3四半期 60,267百万円 2020年3月期 59,767百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	ー	13.00	ー	13.00	26.00
2021年3月期	ー	10.00	ー		
2021年3月期(予想)				10.00	20.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無： 無

3. 2021年3月期の連結業績予想(2020年4月1日～2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	27,500	△4.0	850	△56.6	2,050	△48.5	1,700	ー	30.13

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無： 有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

（注）詳細は、『添付資料』P.8「四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期3Q	56,814,093株	2020年3月期	56,814,093株
② 期末自己株式数	2021年3月期3Q	384,421株	2020年3月期	397,767株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期3Q	56,424,531株	2020年3月期3Q	56,411,600株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

上記予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

（四半期決算補足説明資料の入手方法について）

四半期決算補足説明資料は、2021年2月5日より当社ウェブサイトに掲載しています。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
(3) 研究開発活動	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間（2020年4月1日～2020年12月31日）の売上高は、2020年3月にダルトン ケミカル ラボラトリーズ インクを子会社化したことによる増収要因がありましたが、国内医薬品の薬価引き下げに加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴う外来受診の減少などの影響を受け、医薬品事業が減収となったことから、前年同期と比べ10.4%減の208億1千3百万円となりました。

営業利益は、前期に実施した減損に伴う減価償却費の減少や販売促進費用の見直し等による営業関連費の減少があった一方で、減収に加え、米国で実施中の腰椎椎間板ヘルニア治療剤SI-6603追加臨床試験に係る費用等により研究開発費が増加し、55.3%減の14億5千9百万円となりました。経常利益は、海外製品に関連する受取ロイヤリティーの計上等により、45.4%減の21億1千3百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、18億7千9百万円となりました（前年同期は、医薬品事業に係る固定資産の減損損失を計上したことから、親会社株主に帰属する四半期純損失97億8千1百万円）。

セグメント別の売上概況

<医薬品事業>

- ・国内医薬品（96億1千7百万円、前年同期比16.2%減）

関節機能改善剤アルツは、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い外来受診が減少した影響などにより、市場全体が縮小し、医療機関納入本数は前年同期を下回りましたが、新規納入施設獲得策の効果継続等により競合品からの切り替えが進み、市場シェアは拡大しました。なお、国内では6月以降、市場は回復基調にありましたが、11月以降の感染再拡大により12月時点では再び鈍化傾向がみられます。当社売上高は、薬価引き下げの影響もあり減少しました。

眼科手術補助剤オペガン類は、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い白内障手術件数が減少し、市場全体は縮小しましたが、競合品の出荷調整の影響により医療機関納入本数が伸び、市場シェアが大幅に拡大しました。当社売上高も薬価引き下げの影響をカバーして増加しました。

内視鏡用粘膜下注入材ムコアップは、競合品の低価格戦略による攻勢に加え、新型コロナウイルス感染症の拡大に伴い内視鏡手術件数が減少した影響を受け、当社売上高は減少しました。

腰椎椎間板ヘルニア治療剤ヘルニコアは、新型コロナウイルス感染症の拡大による外来受診減少の影響を受けたものの、新規納入施設数の着実な伸びにより、医療機関納入本数は増加しました。当社売上高は、前年同期に出荷が多かったことから減少しました。引き続きより多くの患者の方々へ治療機会を提供するために、適正使用及び安全性確保のための情報提供や市販後の安全性情報集積に努めています。

- ・海外医薬品（47億円、同22.3%減）

米国における単回投与の関節機能改善剤ジェル・ワンは、第1四半期に新型コロナウイルス感染症の拡大の影響を大きく受けましたが、第2四半期以降、緊急を要さない医療措置の延期などが緩和されたことに伴い、現地販売本数は増加しました。当社売上高は、第1四半期における出荷減の影響が大きく、減少しました。

5回投与の関節機能改善剤スパルツFXは、少数回投与製品が選好される傾向の継続に加え、外来受診の減少もあり、現地販売本数及び当社売上高は減少しました。

なお、米国市場では、経済活動が再開された5月中旬以降、現地販売は回復しつつあり、当第3四半期末まではその傾向が継続しています。

中国向けアルツは、一部の地域において外来診療の抑制が継続しているものの、市場への影響は軽微に留まっており、現地販売本数は増加しました。当社売上高は、第2四半期における販売提携先への出荷調整の影響により減少しました。

- ・医薬品原体・医薬品受託製造※（15億3千5百万円、同84.6%増）

医薬品原体が減少しましたが、海外子会社ダルトン ケミカル ラボラトリーズ インクの医薬品受託製造等の売上が加わったことにより増加しました。

※2020年3月に子会社化したダルトン ケミカル ラボラトリーズ インクの売上高を第2四半期連結決算より、医薬品事業区分に含めています。

これらの結果、医薬品事業の売上高は158億5千3百万円（同13.6%減）となりました。

<LAL事業>

海外子会社アソシエーツ オブ ケープ コッド インクの売上高及び当社の国内販売ともに微増となり、売上高は49億6千万円（同1.4%増）となりました。

なお、LAL事業で取り扱うエンドトキシン測定用試薬及び受託試験サービスは、注射用医薬品や一部の医療機器などの品質管理に使用されるため、新型コロナウイルス感染症による影響は現時点において限定的となっています。

(2) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第3四半期までの実績及び現時点で見通すことの出来る諸要素を織り込み、2020年9月24日に発表した2021年3月期連結業績予想を以下のとおり修正します。

売上高は、海外医薬品及びLAL事業の海外販売における新型コロナウイルス感染症の影響が想定よりも軽微であったため、前回予想を上回る見通しです。

営業利益は、研究開発費の増加を増収効果でカバーし、また、経常利益及び親会社株主に帰属する当期純利益は、海外製品に関連する受取ロイヤリティーの増加を見込み、それぞれ前回予想を上回る見通しです。

なお、研究開発費の予想は、77億円（前回予想の74億円から3億円増加）を見込んでおります。

※ 2021年3月期第4四半期の連結業績予想の為替レートは、対米ドル103円を見込んでおります。

※ 当第3四半期において、営業利益、経常利益及び親会社株主に帰属する四半期純利益が通期の連結業績予想に達していますが、第4四半期に研究開発費などの費用が集中することを見込んでおります。

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属する当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想（A）	26,650	550	1,400	1,150	20.38
今回修正予想（B）	27,500	850	2,050	1,700	30.13
増減額（B－A）	850	300	650	550	－
増減率（％）	3.2	54.5	46.4	47.8	－
（参考）前期連結実績 （2020年3月期）	28,642	1,960	3,981	△10,839	△192.15

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において想定できる経済情勢、市場動向などを前提として作成したものであり、今後様々な要因により、予想と異なる結果となる可能性があります。

(3) 研究開発活動

当社グループは、世界の人々の健康で心豊かな生活に貢献するために、専門分野とする糖質科学に特化して、独創的な医薬品等の創製を目指しています。

今後の事業成長の鍵を握る新薬の早期かつ継続的な上市を実現するために、対象物質や重点疾患を絞り込んだ効率的な活動を推進するとともに、独自の創薬技術の強化やオープンイノベーションの活用によりプロジェクト数の拡充を図っていきます。

当第3四半期連結累計期間における研究開発費の総額は、53億8千万円（対売上高比率25.9%）となりました。研究開発活動の主な進捗状況は、以下のとおりです。

・SI-6603（腰椎椎間板ヘルニア治療剤、開発地域：米国）

2018年2月より米国における第Ⅲ相臨床試験の追加試験を開始し、2022年11月に経過観察を終了する計画で進めておりましたが、米国での新型コロナウイルス感染症の拡大により、一部医療機関での治験中断や被験者の来院見合わせが増加したこともあり、試験スケジュールに遅延が生じております。2020年12月末時点では、治験施設の稼働状況が回復傾向にあることを背景に、被験者組み入れに効果的な広告活動や現地の治験業務委託先と連携した新規施設の早期立ち上げなどの施策を実施し、着実な組み入れの促進及び遅延の最小化を図っています。引き続き、新型コロナウイルス感染症の感染リスク低減策等を講じながら試験を実施していきます。

・SI-613（変形性関節症治療剤、開発地域：日本・米国）

国内で実施した3つの第Ⅲ相臨床試験結果に基づき、2020年1月に変形性関節症（膝関節、股関節、足関節）の効能又は効果に係る国内での製造販売承認申請を行いました。2021年1月に開催された薬事・食品衛生審議会医薬品第二部会において審議が行われ、膝関節及び股関節の適応での承認が了承されました。引き続き、販売提携先と連携しながら、製造販売承認の取得にむけ適切な対応を行ってまいります。

・SI-722（間質性膀胱炎治療剤、開発地域：米国）

2019年11月に第Ⅰ/Ⅱ相臨床試験を開始し、米国での新型コロナウイルス感染症の拡大により試験スケジュールに遅延が生じましたが、2021年1月に被験者組み入れが終了いたしました。

その他の研究開発活動については、重要な変更はありません。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	13,100	11,981
受取手形及び売掛金	6,166	8,219
有価証券	7,783	10,335
商品及び製品	4,033	3,244
仕掛品	2,270	2,413
原材料及び貯蔵品	1,668	2,531
その他	5,489	2,470
貸倒引当金	△64	△84
流動資産合計	40,447	41,111
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,615	18,760
減価償却累計額	△13,504	△13,842
建物及び構築物(純額)	5,110	4,918
機械装置及び運搬具	20,230	20,441
減価償却累計額	△19,600	△19,521
機械装置及び運搬具(純額)	630	919
土地	966	975
リース資産	69	56
減価償却累計額	△62	△40
リース資産(純額)	6	15
建設仮勘定	871	957
その他	5,133	5,093
減価償却累計額	△5,056	△4,962
その他(純額)	76	131
有形固定資産合計	7,662	7,917
無形固定資産		
のれん	1,110	1,304
その他	467	486
無形固定資産合計	1,577	1,790
投資その他の資産		
投資有価証券	17,472	14,494
その他	1,348	1,356
貸倒引当金	△7	△7
投資その他の資産合計	18,813	15,843
固定資産合計	28,053	25,552
資産合計	68,501	66,664

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2020年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	613	645
短期借入金	376	379
リース債務	39	33
未払金	3,913	1,992
未払法人税等	426	—
賞与引当金	637	310
環境対策引当金	95	98
その他	604	1,076
流動負債合計	6,707	4,535
固定負債		
リース債務	69	54
繰延税金負債	1,447	1,454
退職給付に係る負債	46	14
資産除去債務	40	40
その他	423	298
固定負債合計	2,027	1,861
負債合計	8,734	6,397
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,840	3,840
資本剰余金	5,301	5,301
利益剰余金	48,254	48,755
自己株式	△628	△606
株主資本合計	56,768	57,290
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	2,995	3,016
繰延ヘッジ損益	9	—
為替換算調整勘定	114	△1
退職給付に係る調整累計額	△120	△39
その他の包括利益累計額合計	2,998	2,976
純資産合計	59,767	60,267
負債純資産合計	68,501	66,664

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第3四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年12月31日)
売上高	23,240	20,813
売上原価	10,059	9,191
売上総利益	13,180	11,621
販売費及び一般管理費		
販売手数料	1,153	458
人件費	1,760	1,883
賞与引当金繰入額	91	88
退職給付費用	78	91
研究開発費	4,457	5,380
その他	2,373	2,258
販売費及び一般管理費合計	9,914	10,162
営業利益	3,265	1,459
営業外収益		
受取利息	103	50
受取配当金	366	366
投資有価証券売却益	218	32
受取ロイヤリティー	—	195
その他	43	129
営業外収益合計	732	775
営業外費用		
支払利息	14	12
為替差損	112	103
その他	3	4
営業外費用合計	129	121
経常利益	3,868	2,113
特別損失		
減損損失	12,441	—
特別損失合計	12,441	—
税金等調整前四半期純利益又は 税金等調整前四半期純損失(△)	△8,573	2,113
法人税、住民税及び事業税	687	211
法人税等調整額	521	22
法人税等合計	1,208	234
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△9,781	1,879
親会社株主に帰属する四半期純利益又は 親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△9,781	1,879

（四半期連結包括利益計算書）
（第3四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第3四半期連結累計期間 （自 2019年 4月 1日 至 2019年12月31日）	当第3四半期連結累計期間 （自 2020年 4月 1日 至 2020年12月31日）
四半期純利益又は四半期純損失（△）	△9,781	1,879
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	920	20
繰延ヘッジ損益	△8	△9
為替換算調整勘定	△223	△115
退職給付に係る調整額	10	81
その他の包括利益合計	698	△22
四半期包括利益	△9,083	1,857
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	△9,083	1,857
非支配株主に係る四半期包括利益	—	—

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第3四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、見積実効税率に係る法人税等調整額は、法人税、住民税及び事業税に含まれております。

(セグメント情報)

I 前第3四半期連結累計期間（自2019年4月1日 至 2019年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	18,348	4,892	23,240	—	23,240
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	18,348	4,892	23,240	—	23,240
セグメント利益	2,387	878	3,265	—	3,265

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

「医薬品」セグメントにおいて、収益性の低下した資産グループについて、帳簿価額を回収可能価額まで減額し、当該減少額12,441百万円を減損損失として特別損失に計上しております。

II 当第3四半期連結累計期間（自2020年4月1日 至 2020年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			調整額	四半期連結損益 計算書計上額 (注)
	医薬品	L A L	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,853	4,960	20,813	—	20,813
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	15,853	4,960	20,813	—	20,813
セグメント利益	731	728	1,459	—	1,459

(注) セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。